

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2022. 1. 19

No. 662

2022年春実施ダイヤ改正に関する 申し入れ交渉

本部は1月19日、交渉を行いました。以下、報告します。

「共通」

1、今ダイヤ改正での増収見込みを明らかにされたい。

回答・増収、減収合わせて約5億円の効果を見込んでいる。

組合・コロナの収束見通しが分からず不安もあるが、良い商品を提供し増収増益に向けて労使ともに頑張っていきたい。

会社・引き続きご協力をお願いしたい。

2、今ダイヤ改正での経費について明らかにされたい。

回答・輸送体系の見直しに伴う線路使用料・動力費の減等をはじめとして、全体として経費減になると見込んでいる。

組合・どんなに営業収益を上げて経費がかさんでしまえば元も子もない。より一層経費節減に取り組まれない。

会社・主張を受け止め、経費については引き続き精査をして行きたい。

3、「需要に応じた輸送力の増強及び不採算列車の見直し」とあるが、将来を見据えた大胆な改革を図られたい。

回答・これまでも鉄道事業の収支改善を目的として不採算列車の見直し・再編を行ってきており、その成果は出ているものと認識している。ESG、SDGs並びに2050年カーボンニュートラルといった社会やサステナビリティの課題の中で、イノベーションを通じて鉄道貨物輸送に期待されている役割を果たしつつ、鉄道事業の収益性向上に努めていく。

組合・「鉄道貨物には追い風が吹いている」と甘い気持ちでいれば、必ずしっぺ返しがかかる。緊張感を持って鉄道貨物が未来永劫続くよう、将来を見据えた改革を図って頂きたい。

会社・承知した。引き続きご協力をお願いしたい。

4、収支に応じてORSの形態変更を行ってきているが、今回のダイヤ改正で廃止・形態変更はあるのか。

回答・各ORSでは引き続き収支改善に努めており、今ダイヤ改正においてはORSの廃止・形態変更はない。

組合・了解した。

5、設備投資について。機関車・コンテナ・フォークリフト、各費用について明らかにされたい。

回答・2021年度の機関車・コンテナ・フォークリフトの投入に伴う設備投資額は、約111億円である。

組合・機関車23両で〇〇億円、コンテナ4600個で〇〇億円、フォーク97台で〇〇億円と個別に提示できないか。

会社・個別の金額は控えたい。

6、良い商品の提供、お客様の荷物を傷つけない、また、フォークリフトマン作業負担軽減のため、コンテナフォームの照明整備・路面整備等を早期に図り、フォークリフトマンが何時間も続けて作業するダイヤを組まれている場合は見直しを図られたい。

回答・2022年度の計画は現在策定中であるが、引き続き、損傷状況と使用頻度を考慮して、優先順位をつけて整備していく。

組合・フォークリフトマンから悲痛な声が上がってきている。良い商品を提供するためにも、早期の改善を図られたい。また、列車ダイヤを組む際に、フォークリフトマンの働き方を考慮してダイヤを組まれたい。長時間労働が当たり前ようになっており、フォークリフトマンが潰れたら貨物列車は運行出来ない。

会社・主張は理解する。構内の損傷状況については随時把握し、改善すべき箇所については順次改善して行きたい。また、フォークリフトの作業について、長時間労働が当たり前という認識は持っていない。他の業務もそうだが、フォークリフトの業務遂行が出来ないと貨物列車の運行出来ない認識は同じである。そういったことも考慮し作業ダイヤは組んでいくこととなる。

組合・労災の観点からも早期の改善を求める。

会社・引き続き精査していく。

7、業務体制見直しにより、要員見直し・職場廃止等があれば明らかにされたい。

回答・要員効率化については各支社にて別途提示する。なお、職場廃止はない。

組合・了解した。

8、今ダイヤ改正を確実に履行できるよう、各現業機関からの改善要望等を聞き入れ、職場改善等を確実に行われたい。

回答・ダイヤ改正実施に必要な設備投資は確実に実施していく。

組合・社員は会社にとって財産である。働きやすい環境を提供することで、さらに良い商品を生み出すことが出来、会社の発展にもつながる。

会社・各箇所の意見を吸い上げ、必要な設備投資は確実に実施していく。

9、安全安定輸送を担保した上でコスト削減を図られたい。

回答・安全の確立は鉄道事業者としての使命であり、安全の確立の上での安定輸送の確保に真摯に努める。

組合・昨年末、会社の存続を揺るがしかねない脱線事故が起きたが、労使ともに緊張感を持って安全最優先に努めていきたい。

会社・脱線事故原因については調査中であるが、緊張感を持って可能な再発防止策は実施して行く。

10、女性が働きやすい職場環境を早急に進められたい。

回答・女性社員の従事する職場の環境改善については、実態を把握した上で適宜行っていく。

組合・JR貨物においても、今後、女性の活躍する場が増えていく。女性が働きやすい会社をアピールするためにも、早急に進められたい。

会社・主張を受け止め適宜環境改善は実施していく。

1 1、各支社別及び系統別の要員効率化について明らかにされたい。

回答・要員効率化については各支社にて別途提示する。

組合・了解した。

1 2、支社提案のスケジュールについて明らかにされたい。

回答・提示資料等、準備ができ次第、提案を行いたい。

組合・了解した。来週（24日～）には提案できるのか。

会社・その予定である。

「運転関係」

1、要員需給について、要員不足対策強化を図られたい。

回答・入所試験に向けた勉強会等の支援に取り組み、新規乗務員養成の入所者数を確保して必要な要員の確保に努めていく。

組合・全国的に要員は足りているのか。要員が厳しい支社はどこか。

会社・全国的に、病気等による非実働もあり厳しい状況であると認識している。

組合・思うように進まないことも理解するが対策強化をお願いしたい。

会社・引き続き要員に確保に努めていく。

2、引き続き、機関車運転室内や乗務員休憩室・休養室などでの新型コロナウイルス感染症対策を強化されたい。

回答・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、アルコール消毒液の配布や休養室リネン交換業者の手配を含め、日々交換とすることを目指し引き続き取り組んでいく。

組合・現場によって対応が異なることもあるが、現場からの意見を率直に取り入れ、柔軟な対応をお願いしたい。

会社・支社や現場での意見を聞き、実施可能な対策を今後も行っていく。

3、新形式機関車の置き換え促進を図られたい。

回答・順次、老朽取替を行っていく。

組合・九州での在来機関車置き換え用EF510機関車について、最終的な配置両数は17両と聞いているが、何年間で置き換え完了を考えているのか？1年毎の置き換え両数は？

会社・現在試験中であり、試験結果を精査したうえで検討することになる。

組合・現時点で提示出来る中身はあるか。

会社・現時点でお示し出来る中身はない。

2、運転中の遅延情報や災害情報などについて、デジタル端末での情報伝達ができるよう、対策を講じられたい。

回答・運転中の運転士は運転操縦に意識を集中することが必要であり、運転中の携帯電話機等の使用を禁止としている。遅延情報や災害情報については現行通り、指令に確認されたい。

組合・勘違いしないしてほしいが、「個人のスマホを閲覧できるようにしてほしい」という意味ではない。何らかの対策はできないか？と聞いている。

会社・今後勉強していきたい。

3、運転士実施基準や線路図等の資料が増え、乗務カバンはかなり重くなっており、労災防止の観点からも、規定類をタブレット化されたい。

回答・規程類の電子化を検討しているが、一定のルールが必要であり、関係部署を含め検討を行っている。

組合・現時点で提示出来る中身はあるか。

会社・現時点で提示できるものはないが、然るべき時期に提示する。

組合・「規定類が増えカバンが重い」という声が多い。早期の対策をお願いしたい。

会社・引き続き検討していく。

「駅関係」

1、列車編成通知書及び換算通告券を手入力なしに発行できるように早急に改善されたい

回答・編成通知書が機関車モニターに表示されるようシステム改修を進めている。

組合・本格運用はいつ頃を計画しているのか。

会社・検討中である。然るべき時期に提示する。

組合・列車遅延時は作業が重なり、ミスを誘発かねない。早期のシステム導入をお願いしたい。

以 上
